

漢字音読名人

《3年》

國	語	算	數	理	科	社	會
圖	工	算	學	體	育	給	食

1 学期

名前	
----	--

東書配列

「漢字音読名人」の進め方

表のページは練習に使用します。裏のページは、友達との聞き合いに使用します。
一漢字ずつ、読めるようにしていきます。

①まず、表のページで読む練習をします。

・何度も声に出して読み、――を引いた漢字のふりがなを見ないで読めるようになるまで練習します。
・線の引いていない漢字は上の学年で習う漢字ですから、ふりがなを見ながら読んでもいいです。

★意味の分からない言葉があったら、必ず先生に聞きましょう。

②線を引いた漢字が、ふりがなを見なくても読めるようになったら裏のページでチャレンジします。

・友達に聞いてもらい、正しく読めていたら、サインをしてもらい、次の漢字に進みます。

・先生が決めたゴールの漢字まで進んだら、元にもどって、二回目にチャレンジ。

・三回目もゴールまで進み、サインが三つそろったら、「音読名人」です。次のゴールをめざしてがんばりましょう。

1 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

葉

秋になり

葉が落ちる木は落葉樹



話し言葉と書き言葉。



もみじの葉っぱが紅葉する。



とがった葉の木は針葉樹。



2

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

起

さあ起きろ

起床の時間だ もう七時



この後に何が起こるのだろう。



漢字の起源は中国だ。



起立しておじぎする。



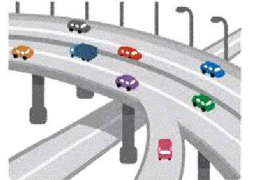
3

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

速

速い速度で

車が走る高速道路



時間が無いので足を速める。



風速四十メートルの強い風。



高速道路は時速八十キロ以上。



1

サイン

葉

秋になり

葉が落ちる木は落葉樹



□話し言葉と書き言葉。



□もみじの葉っぱが紅葉する。



□とがった葉の木は針葉樹。



2

サイン

起

さあ起きろ

起床の時間だ もう七時



□この後に何が起こるのだろう。



□漢字の起源は中国だ。



□起立しておじぎする。



3

サイン

速

速い速度で

車が走る高速道路



□時間が無いので足を速める。



□風速四十メートルの強い風。



□高速道路は時速八十キロ以上。



4

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

面

鬼の面
おにめんつけて豆まき
まめ
節分だ
せつぶん
☐ 雨で地面が一面に水びたし。
あめ
じめん
いちめん
みず

☐ 入院している友達に面会する。
にゅういん
ともだち
めんかい

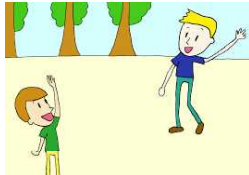
☐ 毎朝洗面所で顔を洗う。
まいあさせんめんじょ
かお
あら


5

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

向

この方向
このほうこう進めば向こうの山に着く
すすめばむこうのやまにつく
☐ 海に向かって坂を下る。
うみ
む
さか
くだ

☐ 向こうから外国人がやってきた。
むこう
がいこくじん

☐ 毎日走って体力が向上した。
まいにちはし
たいりよく
こうじょう


6

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

緑

新緑の
しんりよく緑の葉っぱはきれいだな
みどりのは
☐ 青虫は緑色をしている。
あおむし
みどりいろ

☐ 緑茶を飲む。
りよくちや
の

☐ 砂漠に木を植えて緑化する。
さばく
き
う
りよくか


4

サイン

面

鬼おにの面つけて豆まき
節分せつぶんだ
☐ 雨で地面が一面に水びたし。

☐ 入院している友達に面会する。

☐ 毎朝洗面所で顔を洗う。


5

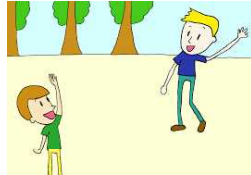
サイン

向

この方向

進めば向こうの山に着く


☐ 海に向かって坂を下る。

☐ 向こうから外国人がやってきた。

☐ 毎日走って体力が向上した。

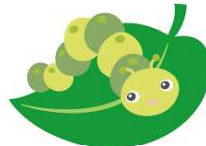

6

サイン

緑

新緑の

緑の葉っぱ きれいだな


☐ 青虫は緑色をしている。

☐ 緑茶を飲む。

☐ 砂漠に木を植えて緑化する。


7

かん かん かん かん かん
感 感 感 感 感
感 感 感 感 感
感 感 感 感 感

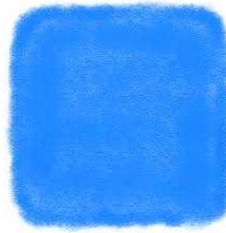
感

感想文

感じたことを書けばいい



青は寒く感じる色だ。



物語を読んで感動した。



熱心に取り組むので感心した。



8

い い い い い
豆 豆 豆 豆 豆

豆

お豆腐は

豆からできているんだよ



弟と豆まき、今日は節分。



電池につないで

豆電球をつける。



納豆は大豆から作る。



9

ろ り り り り
物 物 物 物 物

物

動物も植物も

皆生き物だ



外で大きな物音がした。



物語の登場人物。



不明な物体が
空を飛ぶ。



7

感

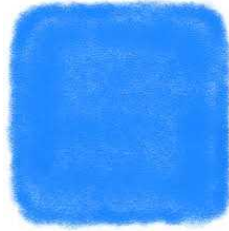
感想文

感じたことを書けばいい



サイン

□青は寒く感じる色だ。



□物語を読んで感動した。

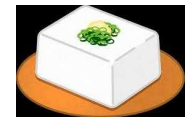
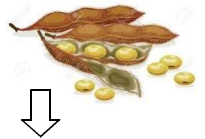
□熱心ねっしんに取り組むので感心おんしんした。

8

豆

お豆腐おふは

豆からできているんだよ



サイン

□弟せうと豆まき、今日は節分。□電池でんちにつないで豆電球まめでんきゅうをつける。□納豆なっとうは大豆から作る。

9

物

動物も植物も

皆みな生き物だ

サイン

□外で大きな物音がした。



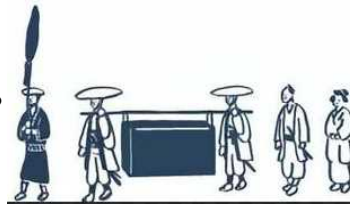
□物語の登場人物。

□不明ふみんな物体が空を飛ぶ。

10

十オオオオ様様様

様

国くににより生活せいかつの様子は様々さまざまだ□ お殿様とのさまの行列ぎょうれつ。□ 神社じんじやで神様かみさまにお願いねがする。□ 近頃ちかごろあの子この様子は様々さまざまがおかしい。

11

ノイ一仕仕

仕

王様おうさまに仕える家来けらいの仕事しごと□ その仕事しごと、早く仕上げてはやしあて帰ろうよ。かえ□ けんかの仕返ししかえはやめて仲直りなかなお。□ 鳥とりの羽はねの仕組しくみを調べるしらべる。

12

糸糸紅練練練

練

粉こなを練ねりうどん作りづくの練習れんしゅうだ□ みこしの行列ぎょうれつが町内ちやうないを練り歩あるく。□ 笛ふえの練習れんしゅうをする。□ 避難訓練ひなんくんれんをおこなう。

10

様

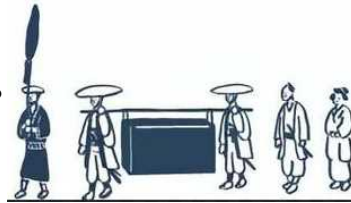
国により

生活の様子は様々だ



□ お殿様の行列。

□ 神社で神様にお願ひする。



□ 近頃あの子の様子がおかしい。



11

仕

王様に

仕える家来の仕事



□ その仕事、早く仕上げて帰ろうよ。

□ けんかの仕返しはやめて仲直り。

やめて仲直り。



□ 鳥の羽の仕組みを調べる。



12

練

粉を練り

うどん作りの練習だ



□ みこしの行列が町内を練り歩く。

□ 笛の練習をする。

□ 避難訓練を行う。



13

習習習習習

習

木曜日
もくようび

ぼくは習字を習ってる



□ 習うより慣れろ。(慣用句)



□ 水泳の練習をしている。



□ 漢字の学習をする。



14

リリリリリ

州

本州と九州つなぐ

関門トンネル



□ 九州・四国・本州・北海道。



□ 川の中に中州がある。



□ 水の働きでできた三角州。



15

ハロハロ

央

ステージの

中央に立ち歌う歌手



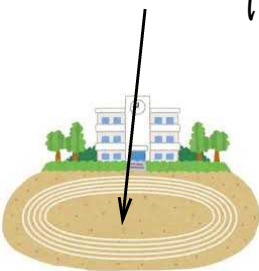
□ テーブルの中央に花を飾る。



□ 町の中央に広場がある。



□ 運動場の中央に集まる。



13

サイン

習

木曜日

ぼくは習字を習ってる



□ 習うより慣れろ。
(慣用句)



□ 水泳の練習をしている。



□ 漢字の学習をする。



14

サイン

州

本州と九州つなぐ

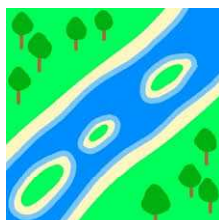
関門トンネル



□ 九州・四国・本州・北海道。



□ 川の中に中州がある。



□ 水の働きでできた三角州。



15

サイン

央

ステージの

中央に立ち歌う歌手



□ テーブルの中央に花を飾る。

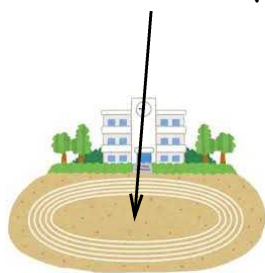


□ 町の中央に広場がある。



□ 運動場の中央に

集まる。



横 横 横 横 横 横 横 横 横 横

横

横断歩道
おうだんほどう

横で信号
よこしんごう

変わるのを待つ
かわるのをまつ



□ ノートの横に筆箱を置く。
よこ びつばこ おく



□ 道路を横切る時は
どうろ よこぎ ととき

車に気を付けてね。
くるま きを つけて ね。



□ あいつはずるい横着なやつだ。
あいつ はずるい 横着 なやつだ。



イ イ 位 倍

倍

倍率が五百倍の
ばいりつ ごひゃくばい

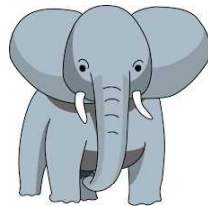
顕微鏡
けんびきよう



□ 五を十倍すると五十になる。
ご じゅうばい ごじゅう

$$5 \times 10 = 50$$

□ 人間より何倍も力持ちの象。
にんげん なんばい ちからもち ぞう



□ 三の倍数は三、六、九、など。
さん ばいすう さん ろく きゅう など。

3, 6, 9
12, 15...

入 今 全 食 館 館 館 館

館

体育館
たいいくかん

みんな

集まり
あつ

全校集会
ぜんこうしゅうかい



□ 本日は
ほんじつ

図書館の休館日。
としょかん きゅうかんび



□ 家族で旅館に泊まる。
かぞく りやかん と



□ 水族館でペンギンを見た。
すいぞくかん ペンギン を みた。



16

横

横断歩道

横で信号

変わるのを待つ



□ ノートの横に筆箱を置く。



□ 道路を横切る時は
車に気を付けてね。



□ あいつはずるい横着なやつだ。



17

倍

倍率が五百倍の

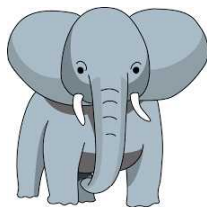
顕微鏡



□ 五を十倍すると五十になる。

$$5 \times 10 = 50$$

□ 人間より何倍も力持ちの象



□ 三の倍数は三、六、九、など。

3, 6, 9
12, 15...

18

館

体育館 みんな

集まり 全校集会



□ 本日は

図書館の休館日。



□ 家族で旅館に泊まる。



□ 水族館でペンギンを見た。



事

大事な事

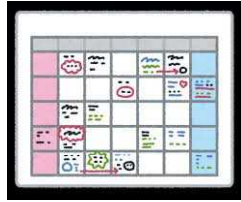
よく考えて決めましょう



□ つまらない事は気にするな。



□ 毎日いろんな出来事がある。



□ 交通事故に注意しよう。



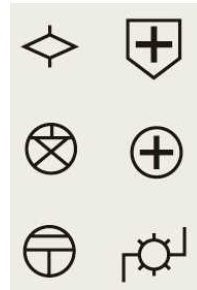
号

号令をかけて整列

運動会



□ 地図にはいろんな記号がある。



□ 信号の赤は止まれの合図です。



□ 僕の出席番号は九番だ。



使

使用した

紙を使ってリサイクル



□ 筆を使って字を書く。



□ 道具の使い方を教えてもらう。



□ 赤ちゃんの寝顔は

天使のようだ。



19

サイン

事

大事な事

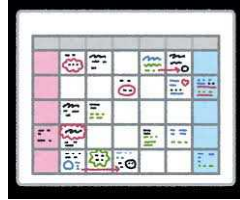
よく考えて決めましょう



□ つまらない事は気にするな。



□ 毎日いろんな出来事がある。



□ 交通事故に注意しよう。



20

サイン

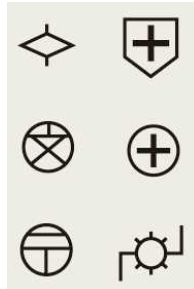
号

号令をかけて整列

運動会



□ 地図にはいろんな記号がある。



□ 信号の赤は止まれる合図です。



□ 僕の出席番号は九番だ。



21

サイン

使

使用した

紙を使ってリサイクル



□ 筆を使って字を書く。



□ 道具の使い方を教えてもらう。



□ 赤ちゃんの寝顔は

天使のようだ。



22

、エホ立エ音音意

意

手を挙げて

自分の意見を言いました



□ 辞典を使って意味を調べる。



□ 自動車に注意して歩く。



□ 宿題が意外に早く終わった。



23

、ハロロニ味味

味

味覚とは

舌で感じる味のこ



□ よく味わって食べましょう。



□ 漢字は訓読みで意味が分かる。



□ 敵と味方に分かれて、いざ、勝負。



24

、シーサ治漢漢

漢

漢という国の字だから

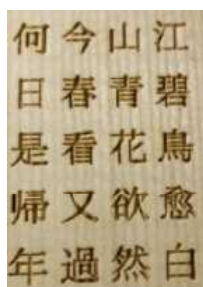
「漢字」だよ



□ 自分の名前を漢字で書く。

山田太郎

□ 中国の詩は漢詩。



□ 百・千・万などは漢数字。

二万五千六百八十四

22

サイン

意

手を挙げて

自分の意見を言いましょう

□辞典じてんを使って意味を調べる。

□自動車に注意して歩く。



□宿題が意外に早く終わった。



23

サイン

味

味覚かくとは舌したで感じる味のこと

□よく味わって食べましょう。



□漢字は訓読みで意味が分かる。

□敵てきと味方に分かれて、いざ、勝負。

24

サイン

漢

漢という国の字だから

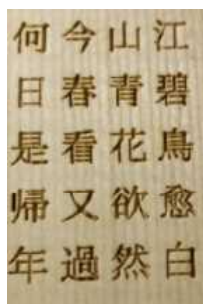
「漢字」だよ



□自分の名前を漢字で書く。

山田太郎

□中国の詩は漢詩。



□百・千・万などは漢数字。

二万五千六百八十四

25

一十才主表表表

表

いちねん
一年の気温の変化を
ひよう
表に表す



かんじ
漢字を使い
ぶんしやう
文章に書き
あらわ
表す。



かみ
紙の表と裏。
おもて
うら



ひよう
表に整理
せいり
するとよく分
わ
かる。



26

言言言言言言言言

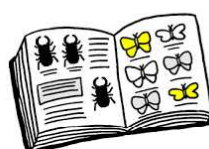
調

ちやうさ
調査して

しら
調べたことを記録
きろく
する



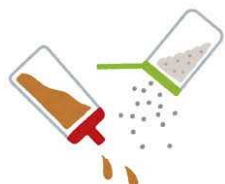
むし
虫の名前を
なまえ
図鑑で調
ずかん
べた。



からだ
体を休
やす
めて体調
たいちやう
を整
ととの
える。



しお
塩や砂糖
さとう
は調味
ちやうみりやう
料とい
いう。



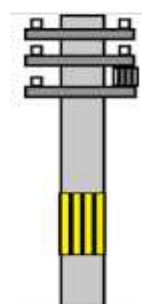
27

木木木木木木木木

柱

えんちゆう
円柱の

かたち
形をして
いる電
でんしんぱし
信柱



もん
この門の柱
はしら
は太
ふと
い。



さむ
寒い冬
ふゆ
は霜柱
しもぼしら
がで
きる。



てら
お寺の入口
いりぐち
にある石
いし
の門柱
もんちゆう
。



25

サイン

表

一年の気温の変化を
表に表す



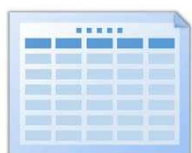
□漢字を使い文章に書き表す。



□紙の表と裏。



□表に整理するとよく分かる。



26

サイン

調

調査して
調べたことを記録する



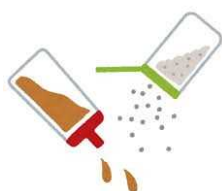
□虫の名前を図鑑で調べた。



□体を休めて体調を整える。



□塩や砂糖は調味料という。

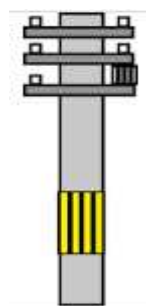


27

サイン

柱

円柱の
形をしている電信柱



□この門の柱は太い。



□寒い冬は霜柱ができる。



□お寺の入口にある石の門柱。



所

この住所

友達住んでいる所



□台所で料理を作る母。



□人には長所と短所がある。



□使ったら元の場所へ返すこと。



取

メモを取りながら

取材する



□箱から品物を取り出す。



□手からお皿を取り落とす。



□珍しい植物を採取する。



局

薬局で薬を買う

郵便局で切手を買った



□放送局のアナウンサー。



□苦しい局面を打開する。



□局地的に大雨が降る。



28

所

この住所

友達^{だち}住^すんでいる所□台所^{りょうじょう}で料理^{りょうり}を作る母^{はは}。□人^{ひと}には長所^{ちやうじょ}と短所^{たんじょ}がある。□使^{つか}ったら元^{もと}の場所^{ばうしよ}へ返^{かえ}すこと。

29

取

メモを取りながら

取材^{さいさい}する□箱^{はこ}から品物^{ひんぶつ}を取り出す。□手^てからお皿^{おひら}を取り落^おとす。□珍^{めづ}しい植物^{しょくぶつ}を採^{さい}取^とする。

30

局

薬局^{やうぎん}で薬^{くすり}を買い郵便局^{ゆうびん}で切手^{きて}を買^かった□放送局^{ほうそうきよく}のアナウンサー^{アナウンスー}。□苦^{くる}しい局面^{きふけん}を打^う開^{ひら}する。□局^{てき}地的^{てき}に大雨^{おおいふ}が降^ふる。

31

配

新聞を配って回る
新聞配達



宿題の

プリントを配る。



心配で夜も眠れない。



劇の配役を決める。



32

住

集合住宅に
家族五人で住む



この家に住んでいる住人。



葉書に住所と名前を書く。



昔からこの町に定住している。



33

身

全身が筋肉痛で
身動きできず



身の回りをきれいに整える。



箱の中身はケーキだった。



三年生になって身長が伸びた。



31

サイン

配

新聞を配^{たつ}って回る

新聞配達



□宿題の

プリントを配^{ねむ}る。□心配で夜も眠^{ねむ}れない。□劇^{げき}の配役を決める。

32

サイン

住

集合住宅^{たく}に家族五人で住^すむ□この家に住^すんでいる住人。

□葉書に住所と名前を書く。

□昔^{むかし}からこの町に定住^{ていじゅう}している。

33

サイン

身

全身^{きん}が筋肉^{きん}痛^{つう}で身動き^{みんぎ}できず□身の回りをきれいに整^{ととの}える。□箱の中身はケーキ^{けき}だった。□三年生^{さんねんせい}になって身長^{しんちやう}が伸^のびた。

育

体育は
たいいく

体を育てる時間だよ
からだ そだ じかん



□ 子犬がすくすくと育つ。
こいぬ そだ

□ 親鳥がひなを育む。
おやどり はぐく



□ 子どもを教え、育てることが教育。
こどもを おし そだ ことが 教育。 こと けいいく



守

守備に付く
しゅび

守りの要はキャッチャーだ
まも かなめ



□ 決まりは必ず守ること。
き かなら まも



□ 家で留守番をする。
いえ る すばん



□ スリーアウトで攻守交代。
スリー アウトで 攻守 交代。 さんしゅーあうとで こうしゅこうたい



決

対決
たいけつ

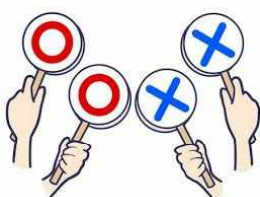
どちらが強いかわかるように
どちらが 強い かわかる ように どちらが つよ き



□ 決まったことはきちんと守る。
き まったことは きちん と 守る。 まも



□ 多数決で決める。
たすうけつ き



□ 毎日練習するぞと決心した。
まいにち れんしゅう けっしん



育

体育は

体を育てる時間だよ



サイン

□ 子犬がすくすくと育つ。

□ 親鳥がひなを育む。



□ 子どもを教え、育てる

ことが教育。



守

守備に付く

守りの要はキャッチャーだ



サイン

□ 決まりは必ず守ること。



□ 家で留守番をする。



□ スリーアウトで攻守交代。



決

対決し

どちらが強いかわかろうぜ



サイン

□ 決まったことはきちんと守る。



□ 多数決で決める。



□ 毎日練習するぞと決心した。



動

のつそりと動く動物
ナマケモノ



□ 大きな岩を動かす。

□ 好きな運動はサッカーです。



□ 係活動で

学級遊びを計画する。



持

持つと待つ

しっかり見ないと間違える



□ 両方の手で荷物を持つ。



□ 晴れた朝は気持ちがいい。



□ 体育の時間に持久走をした。



問

難問だ

先生に問いやつと分かった



□ 集まる場所を問い合わせる。



□ 問屋さんから

商品を

仕入れる。



□ 次の質問に答えましょう。



37

サイン

動

のっそりと動く動物
ナマケモノ



□大きな岩を動かす。

□好きな運動はサッカーです。



□係活動で

学級遊びを計画する。



38

サイン

持

持つと待つ

しっかり見ないと間違える



□両方の手で荷物を持つ。



□晴れた朝は気持ちがいい。



□体育の時間に持久走をした。



39

サイン

問

難問だ

先生に問いやっと分かった



□集まる場所を問い合わせる。



□問屋さんから

商品を

仕入れる。



□次の質問に答えましょう。



題

算数の

問題解けた
うれしいな

□ 算数の文章題は苦手だ。



□ 帰ったらすぐ宿題をする。



□ 作文に題名をつける。



部

台風で

部屋の一部が雨漏りしてる



□ 姉はテニス部に入っている。



□ 左右二つの部分に分ける。



□ 勉強部屋に入る。



筆

筆箱の

鉛筆けずってさあ勉強



□ 毛筆で字を書く。



□ 筆者が読者に伝えたいことを
考えよう。



□ 筆記用具を準備する。



40

サイン

題

算数の

問題^と解けた
うれしいな

□算数の文章題は苦手だ。



□帰ったらすぐ宿題をする。



□作文に題名をつける。



41

サイン

部

台風で

部屋の一部が雨漏り^もしてる

□姉はテニス部に入っている。



□左右二つの部分に分ける。



□勉強部屋に入る。

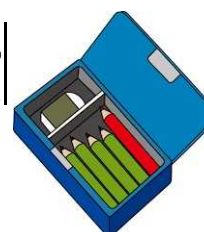


42

サイン

筆

筆箱の

鉛筆^{えん}けずってさあ勉強

□毛筆で字を書く。

□筆者が読者に伝えたいことを
考えよう。□筆記用具を準備^{じゅんび}する。

都

昔は

京都に都があった



□どんな所も住めば都。



□東京や大阪は都会です。



□家の都合で転校する。



氷

「氷山」は

海に浮かんだ氷のかたまり



□寒くて池に氷が張った。



□暑い夏はかき氷がうまい。



□流水が岸に流れ着く。



泳

水泳で

得意な泳ぎは平泳ぎ



□魚が池の中で泳いでいる。



□二時間目はプールで泳ぐ予定。



□水泳は大好きだ。



43

都

昔は

京都に都があった



サイン

□どんな所も住めば都。



□東京や大阪は都会です。



□家の都合で転校する。



44

氷

「冰山」は

海に浮かんだ氷のかたまり



サイン

□寒くて池に氷が張った。



□暑い夏はかき氷がうまい。



□流水が岸に流れ着く。



45

泳

水泳で

得意な泳ぎは平泳ぎ



サイン

□魚が池の中で泳いでいる。



□二時間目はプールで泳ぐ予定。



□水泳は大好きだ。



有

有料の入場料が
無料になった
有り難い

無料!

□ 買い物で有り金を使い果たす。



□ 有料道路を車で走る。



□ テレビでよく見る有名人。



返

「返金」は
借りたお金を返すこと



□ くり返し同じことを言う母。



□ 教科書を声に出して読み返す。



□ 大きな声で返事をしよう。



遊

友達と
遊具で遊んだ昼休み



□ 運動場の砂場で遊ぶ。



□ 遊園地に連れて行ってもらった。



□ 遊び半分で掃除を
してはいけない。



46

サイン

有

有料^{りよう}の入場料^{りやうりょう}が
無料^{むりよう}になった有り難^{がた}い

無料!

□ 買^かい物^{ぶつ}で有^あり金^{きん}を使^{つか}い果^はたす。



□ 有^{りよう}料^{りょう}道^{だう}路^ろを車^{くるま}で走^{はし}る。



□ テレビでよく見^みる有^あり名^な人^{にん}。



47

サイン

返

「返^{かへ}金^{きん}」は
借^かりたお金^{かね}を返^{かへ}すこと



□ く^{かへ}り返^{かへ}し同^{どう}じこ^ことを言^いう母^{はは}。



□ 教^{きょう}科^か書^{しよ}を声^{こゑ}に出^でして読^よみ返^{かへ}す。



□ 大^{おお}きな声^{こゑ}で返^{かへ}事^{こと}をしよう。



48

サイン

遊

友^{とも}達^{だち}と
遊^{あそ}具^ぐで遊^{あそ}んだ昼^{ひる}休^{やす}み



□ 運^{うん}動^{どう}場^ばの砂^{すな}場^ばで遊^{あそ}ぶ。



□ 遊^{あそ}園^{えん}地^ちに連^つれて行^いっ^てもらった。



□ 遊^{あそ}び半^{はん}分^{ぶん}で掃^{そう}除^じを
してはいけ^ない。



開 門 門 門 開

開

開花とは

花のつぼみが開くこと



□ 小さな花屋を開く。



□ 教室の窓を開ける。



□ 運動会の開会式が行われる。



全 今 今 全

全

全力を尽くした

けれど 全く歯が立たず



□ 夏休みの宿題は全て終わった。



□ 部分を見ずに全体を見よう。



□ 春の全国交通安全運動が始まる。



く 女 如 始

始

さあ開始

決勝戦の始まりだ



□ これから朝の会を始めます。



□ 始業式で校歌を歌う。



□ 始発電車に乗って

仕事に行く。



49

サイン

開

開花とは

花のつぼみが開くこと



□小さな花屋を開く。



□教室の窓を開ける。



□運動会の開会式が行われる。



50

サイン

全

全力を尽くした

けれど全く歯が立たず



□夏休みの宿題は全て終わった。



□部分を見ずに全体を見よう。



□春の全国交通安全運動が始まる。



51

サイン

始

さあ開始

決勝戦の始まりだ



□これから朝の会を始めます。

□始業式で校歌を歌う。



□始発電車に乗って

仕事に行く。



係

その仕事



ぼくらの係も関係するね



□黒板消しの係になった。



□遊園地の中では

係員の指示に従ってください。



□これは君には関係のないことだ。



世

世の中の事を

知らない世間知らず



□おじいさんは九十歳で

世を去った。



□お母さんの代わりに

赤ちゃんの世話をする。



□今は二十一世紀の時代です。



終

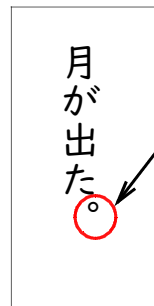
終了の

笛が鳴ったよ もう終わり



□文の終わりに句点を打つ。

月が出た。



□電車が終着駅に着く。



□宿題を終えて遊びに行く。



52

サイン

係

その仕事

ぼくらの係も関係するね



□黒板消しの係になった。



□遊園地の中では

係員の指示に従ってください。



□これは君には関係のないことだ。



53

サイン

世

世の中の事を

知らない世間知らず



□おじいさんは九十歳で

世を去った。



□お母さんの代わりに

赤ちゃんの世話をする。



□今は二十一世紀の時代です。



54

サイン

終

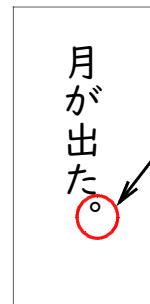
終了の

笛が鳴ったよ もう終わり



□文の終わりに句点を打つ。

月が出た。



□電車が終着駅に着く。



□宿題を終えて遊びに行く。



苦

苦い薬を

苦勞して飲む ああ苦しい



□ 多い宿題に苦しめられる。



□ 苦心の末、

やっと作品ができた。



□ 苦手だった水泳が

上手になった。



族

年末だ

家族みんなで大掃除



□ 水族館で

いろんな魚を見た。



□ テントで生活する遊牧民族。



□ 平安時代の貴族。



章

文章を書くのは

僕の得意技だ



□ 校章の入った旗。



□ 文章をよく読んで考えよう。



□ 腕章をつけたリーダー。



苦

苦い薬を

苦勞ろうして飲む ああ苦しい



□多い宿題に苦しめられる。



□苦心すえの末、

やっと作品ができた。



□苦手だった水泳が

上手になった。



族

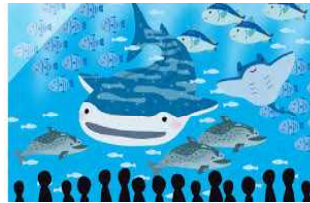
年末まつだ

家族みんなで大掃除そうじ



□水族館で

いろんな魚を見た。



□テントで生活する遊牧ぼくみん民族。



□平安時代の貴族き。



章

文章を書くのは

僕の得意技わげだ



□校章の入った旗はた。



□文章をよく読んで考えよう。



□腕章わんをつけたリーダー。



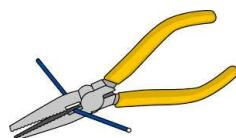
曲

曲線は
きよくせん

曲がりくねった線のこと
ま せん



□ 針金をペンチで曲げる。
はりかね ま



□ 曲に合わせて歌う。
きよく あ うた



□ 玉乗りの曲芸をするサル。
たまの きよくげい



板

黒板は
こくばん

昔は黒い板でした
むかし くろ いた



□ 大工さんが木の板を切る。
だい く き



□ お店の看板が並ぶ商店街。
みせ かんばん なら しやうてんがい



□ 鉄板で焼きそばを作る。
てつばん や



品

品質の良い品物が
ひんしつ よ

揃ったお店
そろ みせ



□ トランプが消える手品。
とらんぷ き てじな



□ 上品な京都の特産品。
じやうひん きやうと とくさんひん



□ 店頭に並んだ商品を
てんとう なら しやうひん
手に取る。
て と

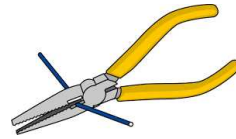


58

曲

曲線は

曲がりくねった線のこと


☐ 針金^{はり}をペンチで曲げる。

☐ 曲に合わせて歌う。

☐ 玉乗りの曲芸^{げい}をするサル。


59

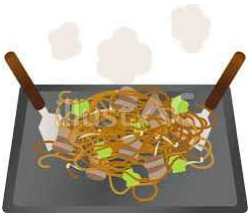
板

黒板は

昔は黒い板でした


☐ 大工さんが木の板を切る。

☐ お店の看板^{かん}が並ぶ商店街^{がい}。

☐ 鉄板で焼きそばを作る。


60

品

品質^{しつ}の良い品物が揃^{そろ}ったお店
☐ トランプが消える手品。

☐ 上品な京都の特産品^{とくさん}。

☐ 店頭^{なら}に並んだ商品を手に取る。


61

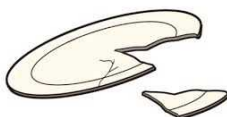
皿 四 皿

皿

夕食の用意だ
皿を並べてね



台所でお皿が割れた。



皿洗いは私の仕事。



皿回しの曲芸をする。



62

委 員 会

委

委員会

放送委員になりました



図書委員の仕事は

本の整理だ。



運命に身を委ねる。



委任とは、

人に仕事を
任せること。



63

員 員 員

員

入り口に

係員が立っている



お店の店員さん。



このバスの定員は

五十人だ。



「全員集合」の合図の

笛が鳴る。



61

サイン

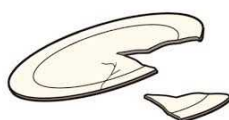
皿

夕食の用意だ

お皿を並べてね



□台所でお皿が割れた。



□皿洗いは私の仕事。



□皿回しの曲芸をする。



62

サイン

委

委員会

放送委員になりました



□図書委員の仕事は

本の整理だ。



□運命に身を委ねる。



□委任とは、

人に仕事を
まか
させること。



63

サイン

員

入り口に

係員が立っている



□お店の店員さん。



□このバスの定員は

五十人だ。



□「全員集合」の合図の

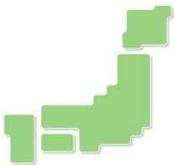
笛が鳴る。



発

さあ出^{しゅつ}発^{ぱつ}発^{はつ}車^{しゃ}オーライ 遠^{えん}足^{そく}だ山^{やま}は「サン」とも発^{はつ}音^{おん}する。富士^{ふじ}山^{さん}新^{あた}しい薬^{くすり}を開^{かい}発^{はつ}した。ピ^はア^つノの発^{はつ}表^{ひょう}会^{かい}に出^でる。

島

無^む人^{じん}島^{とう}島^{しま}に住^すむ人^{ひと}一^{ひと}人^{ひとり}もい^いない宝^{たから}島^{しま}の地^ち図^ずを^て手^てに^い入^いれた。鳥^{とり}取^{とり}県^{けん}の隣^{となり}に^いあ^ある島^{しま}根^ね県^{けん}。日^に本^{ほん}列^{れつ}島^{とう}は四^{よつ}つの大^{おほ}き^きな島^{しま}。

寒

あ^ああ寒^{かん}い^い強^{つよ}い寒^{かん}波^ぱが^がや^やつ^つて^てき^きた今^け朝^さは雪^{ゆき}が^が降^ふつ^つて、と^とも^も寒^{かん}い。寒^{さむ}い冬^{ふゆ}、暑^{あつ}い夏^{なつ}の^に日^{ほん}本^{ぽん}。寒^{かん}中^{ちゆう}に^に行^{おこな}う寒^{かん}げ^いこ。

発

さあ出発

発車オーライ 遠足だ



サイン

□山は「サン」とも発音する。

富士山
ふじさん

□新しい薬を開発した。



□ピアノの発表会に出る。



島

無人島
むねんとう

島に住む人 一人もいない

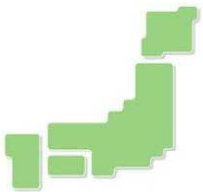


サイン

□宝島たからの地図を手に入れた。□鳥取県の隣となりにある

島根県

□日本列島は四つの大きな島



寒

ああ寒い

強い寒波がやってきた



サイン

□今朝は雪が降って、とても寒い。



□寒い冬、暑い夏の日本。



□寒中に行う寒げいこ。



相

困こまったな

相談そうだんできる相手あいてがい



兄あにを相手あいてにキャッチボール。



明日あすは相当そうとう暑あつくなるでしょう。



事件じけんの真相しんそうが明あきらになる。



死

愛犬あいけんが死しんだ

悲かなしくて泣ないた



大昔おおむかし、恐竜きょうりゅうは死しに絶たえた。



死人しにんに口くち無なし。



必死ひっしでゴールをまもった。



君

太郎君たろうくん

君きみの好すきな食たべ物ものなあに？



君きみはどこから来きたのですか。



君きみとぼくは幼おさななじみの間柄あいだがら。



ひろし君くんはぼくの友達ともだちだ。



67

相

困こまったな相談さうだんできる相手あいてがない

サイン

□兄あにを相手あいてにキャッチボール。□明日あしたは相当さうたう暑あつくなるでしょう。□事件けんの真相しんさうが明らかになる。

68

死

愛犬あいけんが死しんだ悲かなしくて泣ないた

サイン

□大昔きょうりゆう、恐竜きょうりゆうは死しに絶たえた。□死人しにんに口くち無なし。□必死ひつしでゴールを守まもった。

69

君

太郎たろう君くん君きみの好きな食すべ物ぶつなあに？

サイン

□君きみはどこから来きたのですか。□君きみとぼくは幼おさななじみの間柄がら。□ひろし君きみはぼくの友とも達たちだ。

安

やす
安らかな寝顔を見て
あしん
安心する



みせ
このお店の品物は安い。
やす



そこ
底が広いと安定する。
あんてい



あんぜんうんてん
安全運転をするお父さん。
とう



急

あつ
事故だ
いそ
急いで呼ぼう
きゅうきゅうしゃ
救急車



いそ
急がないと間に合わないよ。
あ



そら
空が暗くなり
きゆう
急に風が強くなった。
かぜ

きやうとえき
京都駅から
きゆうこうれつしゃ
急行列車に乗る。
の



橋

ほどうきよう
歩道橋
おうだんよう
道路にかかる
はし
横断用の橋



きゆうりゅう
急流に橋をかける。
はし



たにま
谷間にかかるつり橋。
ばし



でんしゃ
電車が鉄橋を渡っていく。
てつきよう
わた



70

安

安らかな寝顔を見て
安心する



□このお店の品物は安い。



□底そこが広いと安定する。



□安全運転をするお父さん。



71

急

あっ事故だ
急いで呼ぼう
救急車



□急がないと間に合わないよ。



□空が暗くなり

急に風が強くなった。

□京都駅から

急行列車に乗る。



72

橋

歩道橋 道路にかかる
横断用の橋



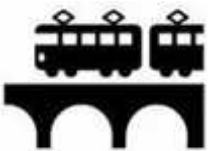
□急流に橋をかける。



□谷間にかかるつり橋。



□電車が鉄橋を渡っていく。



73

フタフタ々々々登登登

登

エベレスト

はちじつさい
八十歳で
のぼった
登った登山家



きのぼ
サルは木登りが上手だ。



まいにち
毎日、元気に登校する。



ものがたり
物語の登場人物。



74

、いゝゝゝ血

血

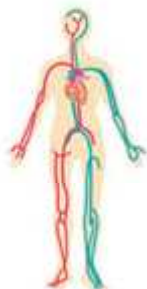
ころ
転んで血管が切れ
あし
足から血が出た



ち
血の気の多い元氣者。



けつえき
血液は体中を回っている。



きゅうけつ
吸血鬼ドラキュラ。



75

、口口口申

申

なつ
夏のキャンプ
さんか
参加したくて申し込む



すいえいきようしつ
水泳教室の申し込みをする。



れいもう
お礼申し上げます。



もう
申し出ることを
しんこく
申告という。

しんこくけいえん
申告敬遠



登

エベレスト

八十歳^{さい}で

登った登山家



□サルは木登りが上手だ。



□毎日、元気に登校する。



□物語の登場人物。



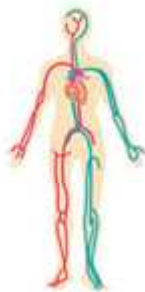
血

転んで血管^{かん}が切れ

足から血が出た



□血の気の多い元気者。

□血液^{えき}は体中を回っている。□吸血^{きゅう}鬼^きドラキュラ。

申

夏のキャンプ

参加^{さんか}したくて申し込む^こ□水泳教室の申し込み^こをする。□お礼^{れい}申し上げます。□申し出^{しで}ることを
申告^{こく}という。しん こく けい えん
申告敬遠

由

遅刻した理由は
夜更かし 朝寝坊



何をしようと君の自由だ。



土地の名前の由来を調べる。



京都

休んだ理由を先生に言う。



想

未来の世界を
空想する



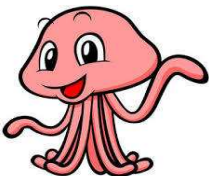
読書感想文を書く。



この発想は面白い。



昔の人が想像した火星人。



詩

感じたこと
言葉短く書くのが詩



国語の時間に詩を書く。



中国の詩を「漢詩」という。

何山江
日春青
是看花
歸又欲
年過然
白



学級で
詩集を作る。

由

遅刻した理由は

夜更かし 朝寝坊



□何をしようと君の自由だ。

□土地の名前の由来を調べる。



京都

□休んだ理由を先生に言う。



想

未来の世界を

空想する

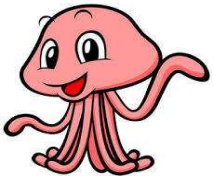


□読書感想文を書く。

□この発想は面白い。



□昔の人が想像した火星人。



詩

感じたこと

言葉短く書くのが詩



□国語の時間に詩を書く。

□中国の詩を「漢詩」という。

江 山 何
碧 青 今
鳥 花 春
愈 欲 看
白 然 又
歸 過 年
何 日 是



□学級で

詩集を作る。



集

たいいくかん
体育館に

ぜんこうあつ
全校集まり
おんがくしゅうかい
音楽集会

音楽会



あつ
みんなを集めて
そうだん
相談する。



えき
駅に
しゅうごう
集合して
でんしゃ
電車に乗る。



きゅうしよくひ
給食費の
しゅうきん
集金をする。



次

つぎ
次は何？

じかい
それは次回の
たの
お楽しみ



つぎ
次の
じかん
時間は
おんがく
音楽だ。



ちやうなん
長男
なんなん
次男
さん
三男、

なかよ
仲良し
さんきやうだい
三兄弟。



でんわ
電話を
とり
次ぐ。



暑

あつ
暑い
なつ
夏

しよちゆう
暑中
おみまい
申しあげ
ます



あつ
暑い
ひ
日は
およ
プールで泳ぐと

きも
気持ちいい。



あつ
暑さ
さむ
寒さも
ひがん
彼岸まで。



ことし
今年の
あき
秋は
ざんしよ
残暑が
きび
厳しい。



集

体育館に

全校集まり 音楽集会



□ みんなを集めて相談する。



□ 駅に集合して電車に乗る。



□ 給食費の集金をする。



次

次は何？

それは次回のお楽しみ



□ 次の時間は音楽だ。



□ 長男次男三男、仲良し三兄弟。



□ 電話を取り次ぐ。



暑

暑い夏

暑中お見舞い申し上げます



□ 暑い日はプールで泳ぐと気持ちいい。



□ 暑さ寒さも彼岸まで。



□ 今年の秋は残暑が厳しい。



業

農業・工業・水産業

「業」は仕事という意味です



□ 山火事の消火作業。



□ 林業は、木を育てて

切る仕事。

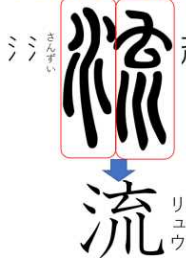


水に流された子どもの形

□ 授業で

漢字の意味を
習う。

この漢字は何だ？



実

柿の実を

こっそり食べたの
実は僕



□ 枝に実った桃の実を取る。



□ 理科の実験をした。



□ 予定していた計画を
実行する。



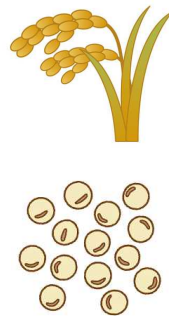
農

米・野菜

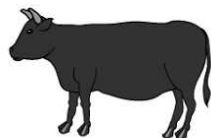
作る仕事が農業だ



□ 麦や豆の農作物。



□ 昔の農家には牛がいた。



□ 農業をする人が少なくなった。



業

農業・工業・水産業

「業」は仕事という意味です



□ 山火事の消火作業。



□ 林業は、木を育てて

切る仕事。



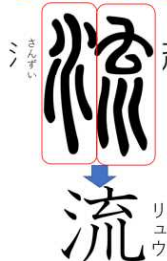
水に流された子どもの形

□ 授業で

漢字の意味を

習う。

この漢字は何だ？



実

柿の実を

こっそり食べたの 実 は 僕



□ 枝に実った桃の実を取る。



□ 理科の実験をした。



□ 予定していた計画を

実行する。



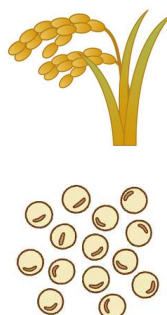
農

米・野菜

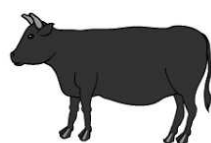
作る仕事が農業だ



□ 麦や豆の農作物。



□ 昔の農家には牛がいた。



□ 農業をする人が少なくなった。



命

命いのちがけで使命しめいを果はたす

□ 命いのちは何なによりも一いち番ばん大たい切せつな物もの。



□ 一いつ生しょう懸けん命めい水すい泳えいの練れん習しゅうをす。



□ 矢やが的まとに命めい中ちゅうする。



写

スマホで写うつした花はなの写しゃ真しん

□ ノーに黒こく板ばんの字じを書かき写うつす。



□ 書しょ写しゃの時じ間かんは毛もう筆ひつを使つかう。



□ 港みなとの船ふねを写しゃ生せいする。



命

命がけで

使命を果たす



□ 命は何よりも一番大切なもの。



□ 一生懸命水泳の練習をする。



□ 矢が的に命中する。



写

スマホで写した

花の写真



□ ノートに黒板の字を書き写す。



□ 書写の時間は毛筆を使う。



□ 港の船を写生する。



1学期の漢字

たしかめ 1

1	葉	もみじの葉っぱが紅葉する。
2	起	さあ起きろ。起床の時間だ。
3	速	速い速度で車が走る高速道路。
4	面	雨で地面が一面に水びたし。
5	向	この方向、進めば向こうの山に着く。

たしかめ 2

6	緑	新緑の緑の葉っぱ、きれいだな。
7	感	感想文、感じたことを書けばいい。
8	豆	お豆腐は、豆からできている。
9	物	外で大きな物音がした。
10	様	国により生活の様子は様々だ。

たしかめ 3

11	仕	その仕事、早く仕上げて帰ろうよ。
12	練	粉を練り、うどん作りの練習だ。
13	習	木曜日に習字を習っている。
14	州	本州と九州をつなぐ関門トンネル
15	央	町の中央に広場がある。

たしかめ 4

16	横	横断歩道の横で待つ。
17	倍	人間より何倍も力持ちの象。
18	館	本日は、図書館の休館日。
19	事	大事な事はよく考えて決めよう。
20	号	地図にはいろんな記号がある。

たしかめ 1

1	もみじのはっぱが紅 <small>こう</small> ようする。
2	さあ おきろ。き床 <small>じふ</small> のじかんだ。
3	はい そく度 <small>ど</small> で くるまが はしる こうそくどう路 <small>ろ</small> 。
4	あめで じめんが いちめん に みずびたし。
5	この ほうこう、進め <small>すす</small> ば むこうの やまに 着 <small>つ</small> く。

たしかめ 2

6	しんりよくの みどりの はっぱ、きれいだな。
7	かん想 <small>そう</small> ぶん、かんじた ことを かけば いい。
8	おとう腐 <small>ふ</small> は、まめから できている。
9	そとで おおきな もの おとが した。
10	く に より せい かつの ようすは さまざまだ。

たしかめ 3

11	その し事 <small>こと</small> 、はやく しあげて かえろうよ。
12	粉 <small>こな</small> を ねり、うどんづくりの れん習 <small>しゅう</small> だ。
13	もくようびに しゅうじを ならっている。
14	ほんしゅうと きゅうしゅうをつなぐ 関 <small>かん</small> もんトンネル。
15	まちの ちゅうおうに ひろばがある。

たしかめ 4

16	おう断 <small>だん</small> ほどの よこで 待つ <small>まち</small> 。
17	にんげんより なんばいも ちから持 <small>も</small> ちの 象 <small>ぞう</small> 。
18	ほんじつは、としよ かの きゅうかんび。
19	だいじな ことは よく かんがえて 決 <small>き</small> めよう。
20	ちずには いろんな きごうがある。

たしかめ 5

25	24	23	22	21
表	漢	味	意	使
一年の気温の変化を表に表す。	漢という国の字だから漢字という。	味覚とは、舌で感じる味のこと。	手を挙げて、自分の意見を言う。	使用した紙を使ってリサイクル。

たしかめ 6

30	29	28	27	26
局	取	所	柱	調
薬局で薬を買う。	メモを取りながら取材する。	この住所は友達が住んでいる所だ。	円柱の形をしている電信柱。	調査して、調べたことを記録する。

たしかめ 7

35	34	33	32	31
守	育	身	住	配
守備に付く、守りの要はキャッチャー。	体育は、体を育てる時間だ。	全身が筋肉痛で身動きできず。	この家に住んでいる住人。	新聞を配って回る新聞配達。

たしかめ 8

40	39	38	37	36
題	問	持	動	決
作文に題名をつける。	難問だ。先生に問い、やっと分かった。	両方の手で荷物を持つ。	のっそりと動く動物、ナマケモノ。	多数決で決める。

たしかめ 5

25	24	23	22	21
い ち ね ん の き 温 の 変 化 を ひ よ う に あ ら わ す。	か ん と い う く に の じ だ か ら か ん じ と い う。	み 覚 と は、 舌 で か ん じ る あ じ の こ と。	て を 挙 げ て、 じ ぶ ん の い け ん を い う。	し よ う し た か み を つ か つ て リ サ イ ク ル

たしかめ 6

30	29	28	27	26
薬 き よ く で 薬 を か う。	メ モ を と り な が ら し ゆ 材 す る。	こ の 住 し よ は と も 達 が 住 ん で い る と こ ろ だ。	え ん ち ゆ う の か た ち を し て い る で ん 信 ば し ら。	ち よ う 査 し て、 し ら べ た こ と を き 録 す る。

たしかめ 7

35	34	33	32	31
し ゆ 備 に 付 く、 ま も り の 要 は キャ ッ チャ ー。	た い い く は、 か ら だ を そ だ て る じ か ん だ。	全 し ん が 筋 に く 痛 で み 動 き で き ず。	こ の い え に す ん で い る じ ゆ う に ん。	し ん ぶ ん を く ば つ て ま わ る し ん ぶ ん は い 達。

たしかめ 8

40	39	38	37	36
さ く ぶ ん に だ い め い を つ け る。	難 も ん だ。 せ ん せ い に と い 、 や つ と わ か つ た。	両 ほ う の て で 荷 も つ を も つ。	の つ そ り と う ご く ど う ぶ つ、 ナ マ ケ モ ノ。	た す う け つ で き め る。

たしかめ 9

45	44	43	42	41
泳	氷	都	筆	部
水泳で得意な泳ぎは平泳ぎ。	氷山は海に浮かんだ氷のかたまり。	昔は京都に都があった。	筆箱の鉛筆をけずって勉強する	左右二つの部分に分ける。

たしかめ 10

50	49	48	47	46
全	開	遊	返	有
全力を尽くしたが、全く歯が立たない。	開花とは、花のつぼみが開くこと。	昼休み、友達と遊具で遊んだ。	返金は、借りたお金を返すこと。	有料が無料になって有り難い。

たしかめ 11

55	54	53	52	51
苦	終	世	係	始
苦い薬を苦勞して飲む。ああ苦しい。	終了の笛が鳴ったよ、もう終わり。	世の中の事を知らない世間知らず。	その仕事、ぼくらの係も関係するね。	さあ開始。決勝戦の始まりだ。

たしかめ 12

60	59	58	57	56
品	板	曲	章	族
品質の良い品物が揃ったお店。	黒板は、昔は黒い板だった。	曲線は、曲がりくねった線のこと。	文章をよく読んで考えよう。	水族館でいろんな魚を見た。

たしかめ 9

45	44	43	42	41
すいえいで得いな およぎは 平およぎ。	ひようざんは うみに 浮かんだ こおりの かたまり。	昔は きようとに みやこが あった。	ふで箱の 鉛びつを けずって 勉強しようする。	さゆう ふたつの ぶぶん に わける。

たしかめ 10

50	49	48	47	46
ぜんりよくを 尽くしたが、まったく 歯が たたない。	かいか とは、はなの つぼみが ひらく こと。	ひるやすみ、とも達と ゆう具で あそんだ。	へんきんは、借りた おかねを かえす こと。	ゆう料が 無料に なって あり難い。

たしかめ 11

55	54	53	52	51
にがい 薬を く 労して 飲む。 ああ くるしい。	しゅう了の 笛が なったよ、もう おわり。	よのなかの ことを しらない せけん しらず。	その しごと、ぼくらの かかりも 関けい するね。	さあ かいし。 けつ 勝戦の はじまりだ。

たしかめ 12

60	59	58	57	56
ひん質の 良い しなもの が 揃った おみせ。	こくばんは、昔は くらい いた だった。	きよくせんは、まがりくねった せん のこと。	ぶんしょうを よく よんで かんがえよう。	すいぞくかんで いろんな さかなを みた。

たしかめ

13

65	64	63	62	61
島	発	員	委	皿
島に住む人が一人もない無人島。	ピアノの発表会に出る。	入り口に係員が立っている。	図書委員の仕事は本の整理だ。	夕食の用意だ。お皿を並べてね。

たしかめ

14

70	69	68	67	66
安	君	死	相	寒
安らかな寝顔を見て安心する。	太郎君、君の好きな食べ物なあに？	必死でゴールを守った。	困ったな、相談できる相手がいない。	ああ寒い。強い寒波がやってきた。

たしかめ

15

75	74	73	72	71
申	血	登	橋	急
申し出ることを申告という。	転んで血管が切れ、足から血が出た。	八十歳でエベレストに登った登山家。	道路にかかる横断用の橋が歩道橋。	事故だ。急いで呼ぼう、救急車。

たしかめ

16

80	79	78	77	76
次	集	詩	想	由
次は何？それは次回のお楽しみ。	体育館に全校が集まり、音楽集会。	国語の時間に詩を書く。	読書感想文を書く。	何をしようと君の自由だ。

たしかめ

13

65	64	63	62	61
しまにすむひとがひとりもない無じんとう。	ピアノのはっぴようかいにでる。	いりぐちにかかりいんがたっている。	としよいいのしごとはほんの整りだ。	ゆうしよくのよういだ。おさらを並べてね。

たしかめ

14

70	69	68	67	66
やすらかな寝がおをみてあんしんする。	た郎くん、きみの好きなたべものなあに？	必しでゴールをまもった。	困ったな、そう談でできるあいてがない。	ああさむい。つよいかん波がやってきた。

たしかめ

15

75	74	73	72	71
もうしでることをしん告という。	転んでけつ管がきれ、あしからちがでた。	はちじつ歳でエベレストにのぼったとざんか。	どう路にかかるおう断ようのはしが ほどうきよう。	じ故だ。いそいで呼ぼう、救きゆうしゃ。

たしかめ

16

80	79	78	77	76
つぎはなに？それはじかいのおたのしみ。	たいいくかにぜんこうがあつまり、 おんがくしゅうかい。	こくごのじかにしをかく。	どくしよかんそうぶんをかく。	なにをしようときみのじゆうだ。

86	85	84	83	82	81
写	命	農	実	業	暑
スマホで写した花の写真。	命がけて使命を果たす。	米や野菜を作る仕事は農業だ。	柿の実を食べたのは、実は僕は	授業で漢字の意味を習う。	暑い日はプールで泳ぐと気持ちいい。

86	85	84	83	82	81
スマホでうつしたはなのしゃ真 ^{しん} 。	いのちがけでしめいを果た ^は す。	こめやや菜 ^{さい} をつくるしごとがのうぎようだ。	柿 ^{かき} のみをたべたのは、じつは僕 ^{ぼく} だ。	授 ^{じゅ} ぎようでかんじのいみをならう。	あついひはプールでおよぐときもちいい

3年生で習う漢字

1	葉	31	配	61	皿	91	負	121	温	151	洋	181	第
2	起	32	住	62	委	92	勝	122	度	152	湖	182	福
3	速	33	身	63	員	93	区	123	美	153	酒	183	等
4	面	34	育	64	発	94	丁	124	短	154	油	184	定
5	向	35	守	65	島	95	屋	125	整	155	拾	185	宮
6	緑	36	決	66	寒	96	根	126	指	156	羊	186	宿
7	感	37	動	67	相	97	投	127	植	157	駅	187	追
8	豆	38	持	68	死	98	球	128	研	158	港	188	庭
9	物	39	問	69	君	99	打	129	究	159	界	189	旅
10	様	40	題	70	安	100	童	130	者	160	期	190	息
11	仕	41	部	71	急	101	主	131	深	161	勉	191	階
12	練	42	筆	72	橋	102	化	132	代	162	級	192	重
13	習	43	都	73	登	103	鉄	133	乗	163	式	193	畑
14	州	44	氷	74	血	104	真	134	飲	164	列	194	去
15	央	45	泳	75	申	105	客	135	流	165	予	195	礼
16	横	46	有	76	由	106	着	136	炭	166	談	196	待
17	倍	47	返	77	想	107	送	137	平	167	反	197	秒
18	館	48	遊	78	詩	108	院	138	和	168	注	198	病
19	事	49	開	79	集	109	皮	139	銀	169	暗	199	笛
20	号	50	全	80	次	110	受	140	鼻	170	悪	200	波
21	使	51	始	81	暑	111	消	141	神	171	県		
22	意	52	係	82	業	112	荷	142	祭	172	岸		
23	味	53	世	83	実	113	運	143	歯	173	放		
24	漢	54	終	84	農	114	陽	144	医	174	幸		
25	表	55	苦	85	命	115	路	145	坂	175	悲		
26	調	56	族	86	写	116	昔	146	薬	176	商		
27	柱	57	章	87	助	117	服	147	箱	177	昭		
28	所	58	曲	88	落	118	両	148	湯	178	帳		
29	取	59	板	89	進	119	軽	149	他	179	庫		
30	局	60	品	90	役	120	具	150	対	180	転		